

令和7年度 一般社団法人さいたまスポーツコミュニケーション 事業計画

I 重点的な取組事項

本法人の活動目的である地域スポーツの振興と地域経済の活性化を目指し、組織体制の充実を図るとともに、スポーツ機会の創出を図る事業を展開する。

- ① ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム、さいたまマラソンを、収益を確保しつつ持続可能なスポーツイベントとして実施する。
- ② スポーツを通じた交流人口の増加や経済効果の向上等を図るため、スポーツコミュニケーション事業を着実に実施する。
- ③ スポーツシェア事業の公益的目的を達成しつつ、法人としての収益性を高める事業展開を行う。
- ④ スポーツ施設の運営など、将来的な収益確保に資する事業の拡大に努める。

II 事業内容

1 スポーツイベント誘致・支援事業

(1) スポーツイベント誘致活動

開催会場の確保・調整を図るとともに、誘致のためのサービス向上をしながらスポーツイベント開催助成金制度を活用し、関東大会規模以上の大会・イベントを対象に、概ね30大会以上誘致することを目標にセールス活動を展開する。また継続大会・イベントが多いため、新規大会・イベントを誘致することに尽力する。

(2) スポーツイベント支援活動

スポーツイベント開催助成金による財政支援、広報・PR、各種資料・情報提供、行政機関への調整等、主催者の要望に応じた各種運営支援を実施する。

(3) スポーツ合宿誘致活動

自主管理施設の活用や「さいたまスポーツシェア」事業参画施設・企業等との連携により、スポーツ合宿のセールス活動を展開する。

(4) プロモーション活動

スポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの促進並びに関係団体との交流拡大等を図るため、各種プロモーション活動を展開する。

(5) 経済波及効果調査活動

スポーツイベント開催助成金を支出したイベントを中心に消費額アンケート調査による個別基礎調査を実施するとともに、スポーツイベントにおける経済効果額を推計する。また、SROI分析や施設調整可能枠の拡大など次期に向けて新たな効果検証策の検討をする。

(6) 情報収集活動

- ①一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）との連携

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構と連携を図りながら、各種スポーツイベント情報を収集する。

②プライドリームス埼玉（PDS）運営との連携

埼玉県内トップスポーツチームとの交流及び連携を図るため、同団体の運営補助等を行う。

<正会員>浦和レッズ、三菱重工浦和レッズレディース、大崎電気ハンドボール部、RB大宮アルディージャ、大宮アルディージャVENTUS、埼玉西武ライオンズ、さいたまブロンコス、ちふれASエルフェン埼玉、埼玉上尾メディックス、戸田中央メディックス埼玉、埼玉パナソニックワイルドナイツ、さいたまSAICORO

2 スポーツイベント開催助成事業

本市で開催されるスポーツイベント等を対象に、開催規模等に応じて予算の範囲内で助成する。

3 ウオーキングイベント開催事業

・第14回さいたまマーチ～見沼ツーデーウォーク～

日 程：令和8年3月28日（土）・29日（日）

会 場：さいたま新都心及び見沼田んぼ周辺

コース：見沼田んぼ南・北ルート／30km・20km・10km・5km ※予定

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般社団法人日本ウォーキング協会、

NPO法人埼玉県ウォーキング協会 ※予定

共 催：さいたま市、さいたま市教育委員会 ※予定

4 スポーツシューレ事業

（1）スポーツ施設運営事業

スポーツイベント及び合宿等の誘致促進を図ることを目的に、大宮けんぽグラウンドSフィールドの管理運営を行う。また、平日利用者の増加を促進する。

・大宮けんぽグラウンドSフィールド（野球場8面・テニスコート10面）

クラブハウス所在地：埼玉県さいたま市西区二ツ宮113-1

さいたま市の指定管理業務を共同事業体で受託し、その構成員として、広報や自主事業の実施など指定管理施設の運営の一翼を担う。

・さいたま市与野体育館 令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）

・さいたま市大宮武道館 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

・さいたま新都心公園・周辺の無料公園 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

（2）バスケットボール活性化事業

東京2020バスケットボール競技の開催都市としてのオリンピックレガシーを創出するため、バスケットボールの振興と環境整備を図る取組を行う。

（3）女子サッカー等活性化受託事業

さいたま市と協力し事業を進めながら、競技人口が極端に減る中学生年代の女子サッカーを支援するため、サッカーを行う女子中学生の活動の場所等を確保するとともに、競技技術の向上、栄養管理等を図る取組を行う。

(4) テニス活性化事業

Sフィールドテニスコートを活用した自主事業として定期的な主催大会等を開催し、Sフィールドの周知とテニスの振興と収益化を図る。

(5) アーバンスポーツ活性化事業

市民のスポーツ実施率の向上及び地域住民の交流の創出に向けて、子育て世代の親子を中心にアーバンスポーツの体験機会の創出及びルール・マナーの普及啓発の推進を図る。

(6) さいたま市版S O I P 推進事業

プロスポーツチームや地域の課題に対し、地域企業等と連携・共創することで、スポーツを軸とした社会課題解決や新たなビジネスの創出等を目指す取組を行う。

(7) アフタースクール事業

スポーツ教室、寺子屋教室の一気通貫のスポーツ×アフタースクールを開設。フィジカルリテラシーの習得、基礎「体力」の向上とスポーツをする上での創造性・問題解決能力など「知力」を鍛え、心・知・体をバランス良く備える。仲間・地域とのつながりを得られる環境を作る。

(8) スポーツテック実証事業

(仮称) さいたまスポーツシューレ推進施設に導入予定のスポーツテックの実証事業。

市民やアスリート等のフィジカルデータを測定し、測定データと最新知見に基づくトレーニングを提供することで、パフォーマンスの向上・弱点の克服等を図るもの。

5 2025ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催

令和7年度開催は第11回を数え、新たなスタートとしての大会として位置付ける。前年に引き続きその年のツール・ド・フランスで活躍した選手たちが参加する国内唯一の大会として実施する。併設イベントとして、食の祭典「さいたましえ」、自転車関連イベント「サイクルフェスタ」を開催する。

日 程：令和7年10月下旬から11月上旬を予定

会 場：さいたま新都心駅周辺（予定）

内 容（予定）：（1）クリテリウムレース（海外招聘選手、国内選手によるレース）

（2）タイムトライアルレース

（3）コース及びイベント会場での一般参加体験イベント

（4）スポンサー企業・自転車関連企業のPRブース

（5）賑わい創出イベント

（6）パブリックビューイング

（7）海外招聘選手との交流

主 催：さいたまクリテリウム組織委員会、一般社団法人さいたまスポーツコミッショ

共 催：埼玉県、さいたま市、A.S.O.（予定）

特別協力：さいたまクリテリウム推進委員会（予定）

競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟（予定）

観客人数 10万人以上（参考：2024年度実績 約8万3千人）

6 自転車文化醸成事業

(1) 自転車乗り方教室

幼児・児童の世代からの自転車ファン層の裾野の拡大とスポーツとしての自転車利用を促進し、自転車文化の醸成を図ることを目的として、幼児、児童を対象としたプロロードレーサーが教える自転車乗り方教室を実施する。

(2) 自転車利用促進事業

スポーツとしての自転車利用を促進し、自転車文化の醸成を図ることを目的とする。市民、企業などを対象としたキックバイク等の子供向け自転車を活用した大会として、10回記念大会で初開催した「キッズクリテカップ」を実施する。

7 ランニングイベントの開催

誰もがスポーツを楽しみ、誰もが参加できる大会を実現するさいたまマラソンを開催する。

日 程：令和8年2月8日（予定）

会 場：検討中

内 容：マラソン、8キロ、エンジョイベラン、親子ラン、車いす（予定）

コース：2024年度開催と同規模（予定）

主 催：さいたま市、一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般財団法人埼玉陸上競技協会